

# 2024年3月期 決算概要

---



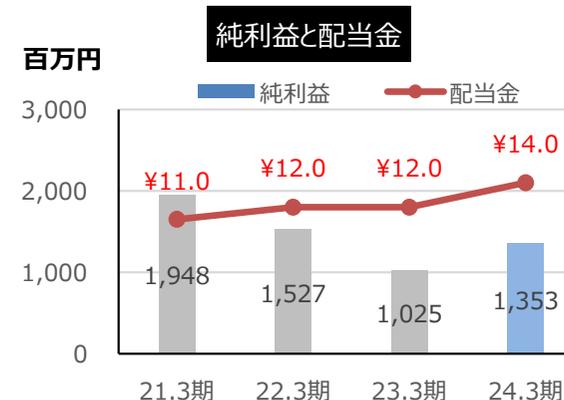
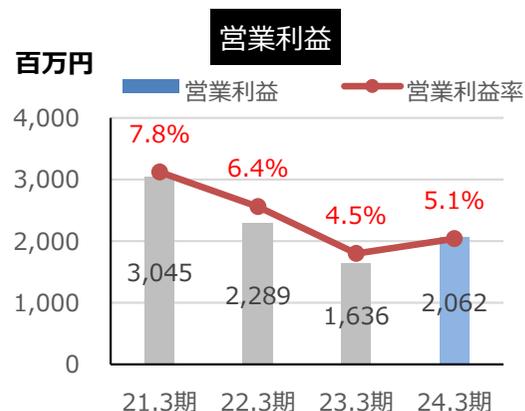
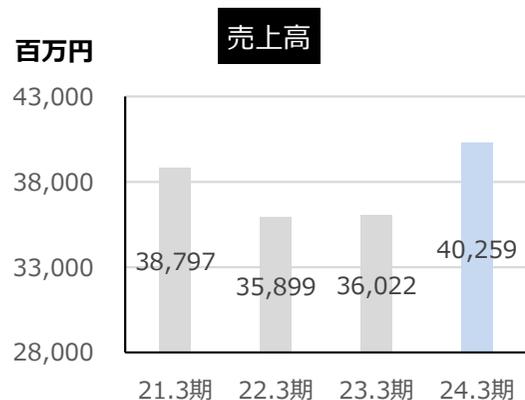
2024年5月10日

株式会社ビーアールホールディングス

# 業績サマリー

2年連続増収、3年ぶり増益 特別配当1円を含む2円の増配

単位：百万円	22.3期		23.3期		24.3期			総括コメント
	実績	前年比 %	実績	前年比 %	実績	前年比 %	公表比 %	
売上高	35,899	△7.5	36,022	0.3	40,259	11.8	△4.1	大型工事が順調に進捗したことや、設計変更による増額契約の獲得により前期比増収
営業利益	2,289	△24.8	1,636	△28.5	2,062	26.0	0.6	売上高増加により、前期比増益
経常利益	2,296	△22.3	1,624	△29.3	2,036	25.3	1.8	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,527	△21.6	1,025	△32.8	1,353	31.9	4.1	
1株当たり当期純利益	33.85円		22.63円		29.81円			
1株当たりの配当金	12円 (中間6円 期末6円)		12円 (中間6円 期末6円)		14円 (特配1円含む) (中間6円 期末7円 特配1円)			2円の増配 (普通配当1円 特別配当1円)



## ➤ 北海道新幹線札幌延伸事業の受注

建設事業において、鉄道・運輸機構より北海道新幹線札幌延伸事業の倶知安軌道スラブ製作運搬工事及び遊楽部高架橋工事を74億68百万円で受注いたしました。

## ➤ 自己株式の取得

- ①取得対象株式の種類：当社普通株式
- ②取得した株式の総数：100万株
- ③株式の取得価額の総額：365,596,200円
- ④取得期間：2023年11月13日～2024年3月13日

## ➤ 株主還元方針の見直し

### 【株主優待制度の廃止】

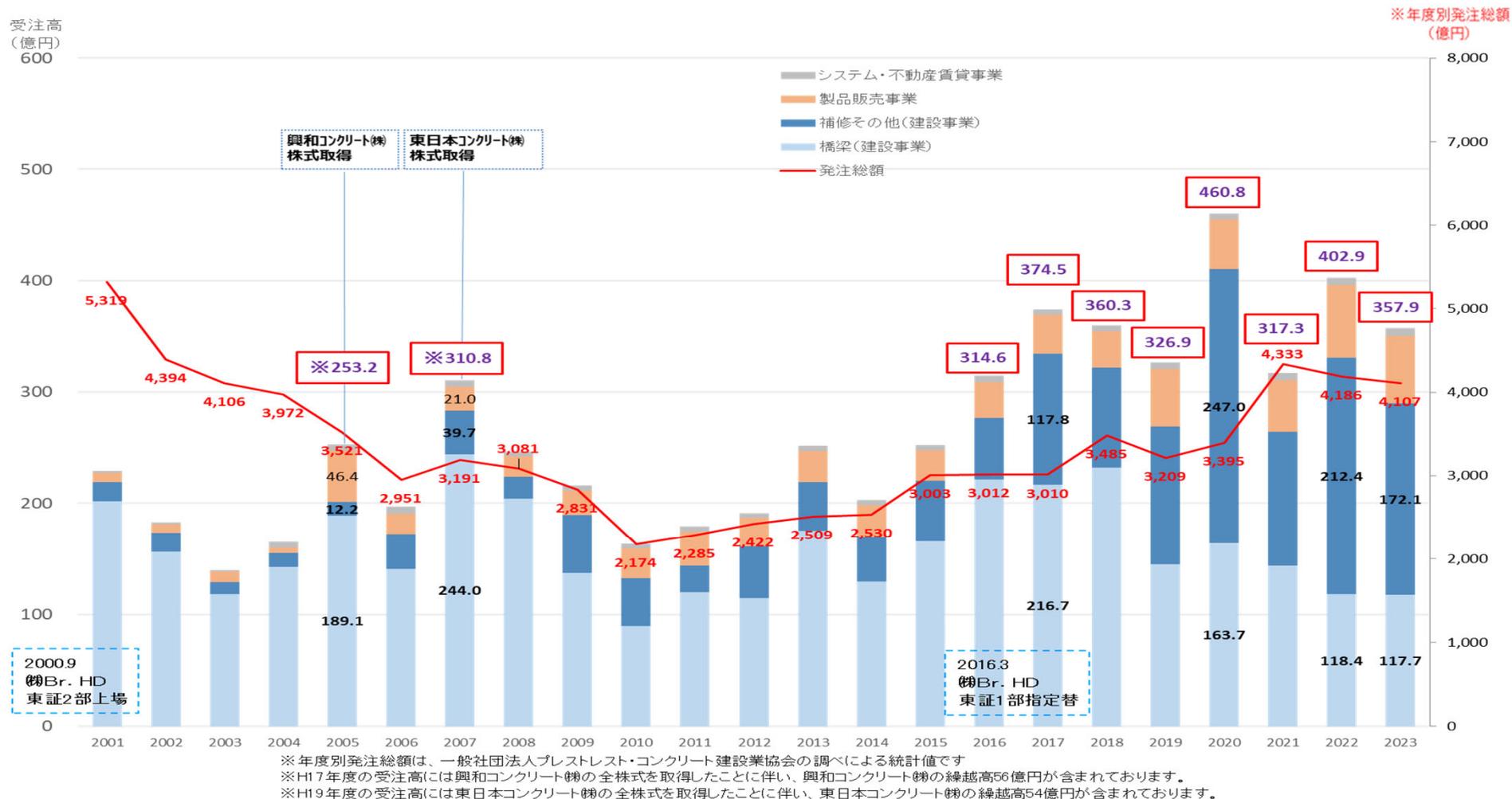
株主への公平な利益還元の在り方という観点から、業績に応じ、配当による直接的な利益還元を集約することがより適切であるとの判断に至り、2023年9月末（中間期末）時点の株主優待対象の株主への進呈をもちまして株主優待制度を廃止することいたしました。

### 【配当政策の見直し】

指標	現状	変更後	計算式
連結配当性向	30%	40%	$\frac{\text{1株当たりの配当}}{\text{EPS (1株当たりの純利益)}}$
DOE (自己資本配当率)	—	4%	$\frac{\text{年間配当額}}{\text{自己資本 (期中平均)}}$

当社は、経営成績に対応した配当を継続的かつ安定的に実施することを基本とし、株主還元の指標として、連結配当性向30%を目標としておりましたが、今般、あらためて今後の財務・資本戦略について、業績動向、資金需要、資本効率、資本コストなどを総合的に勘案し検討した結果、ROEの目標達成（10%以上）維持のためには資本効率を意識した株主還元の実施が望ましいと判断し、株主還元の目標を連結配当性向40%に引き上げ、あらたにDOE（自己資本配当率）4%を採用することにいたしました。つきましては、2024年3月31日（期末配当）を基準日とする普通配当につきましては、前回予想から1円増額した7円とし、併せて、株主優待制度の廃止に伴い、1株当たり1円の特別配当を実施することいたしました。

# 年度別セグメント別受注実績・年度別発注額推移比較



## 当期の主な受注工事（受注金額上位3件）

工事名称	契約先	セグメント
北海道新幹線、倶知安軌道スラブ製作運搬	鉄道建設・運輸施設整備支援機構	建設事業
令和5年度 九州自動車道（特定更新等） 若宮橋床版取替工事	西日本高速道路（株）九州支社	建設事業
北海道新幹線、遊楽部高架橋	鉄道建設・運輸施設整備支援機構	建設事業

# 発注先別受注高、売上高、手持高（建設事業）



百万円

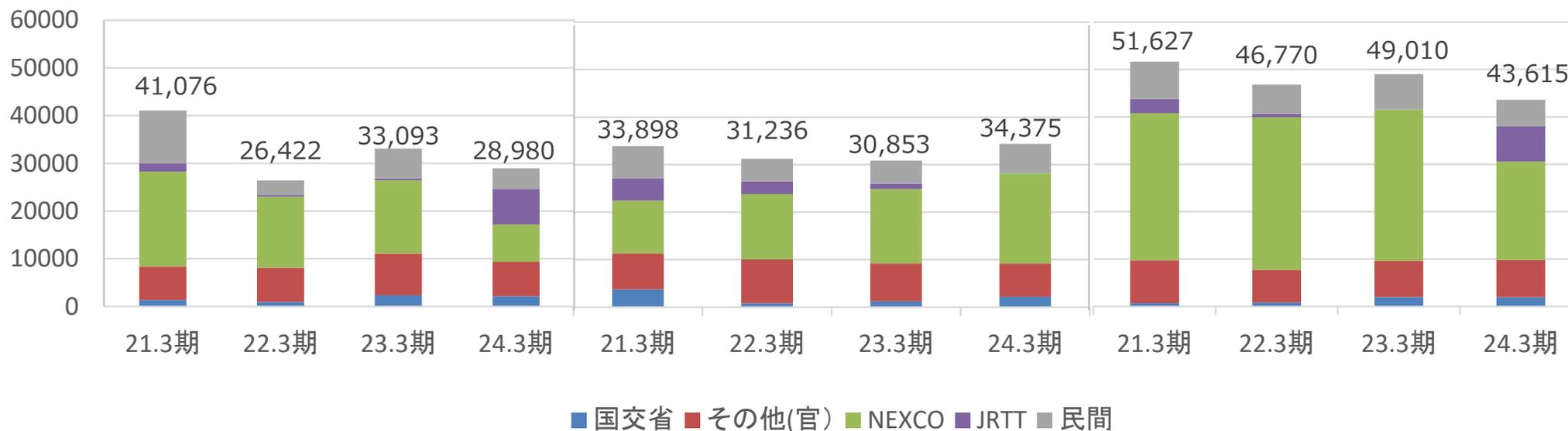
	2024.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	期末手持高
官公庁	国交省	1,992	2,170	2,229	1,933
	その他	7,629	7,165	6,959	7,835
民間	NEXCO	31,879	7,852	18,994	20,782
	JRTT	45	7,468	—	7,468
	民間	7,465	4,325	6,193	5,597
計		49,010	28,980	34,375	43,615

百万円

受注高

売上高

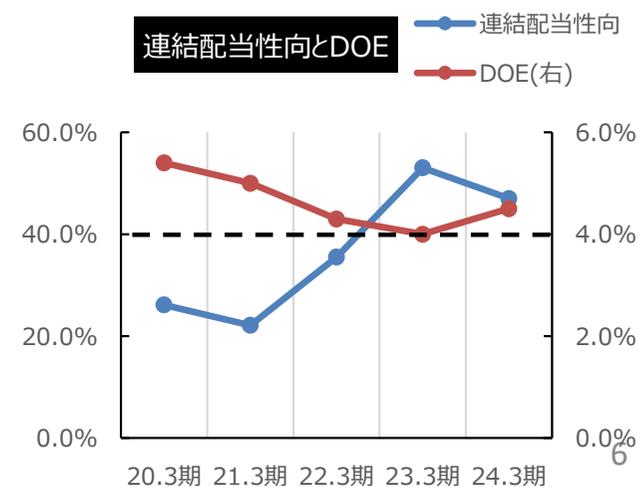
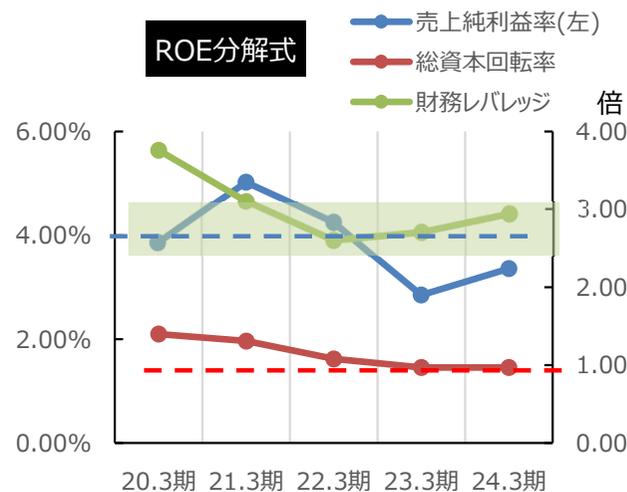
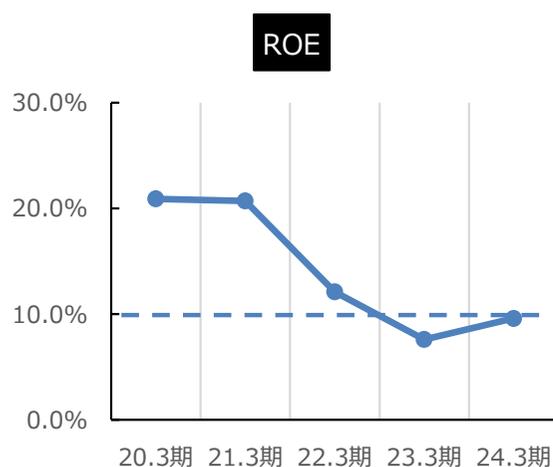
期末手持高



# 資本収益性と株主還元

・ ROE = 9.6% > 株主資本コスト6~7% (自社想定)      ・ PBR = 1.2倍

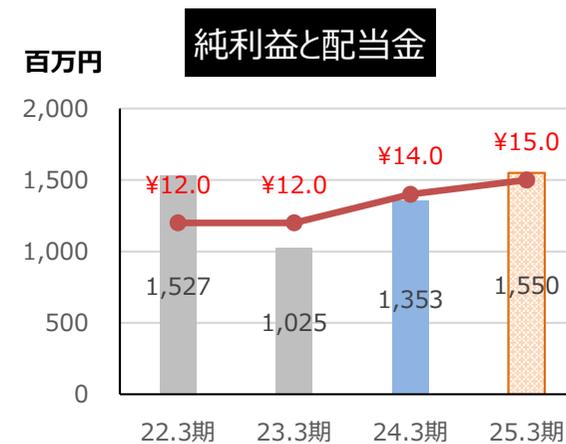
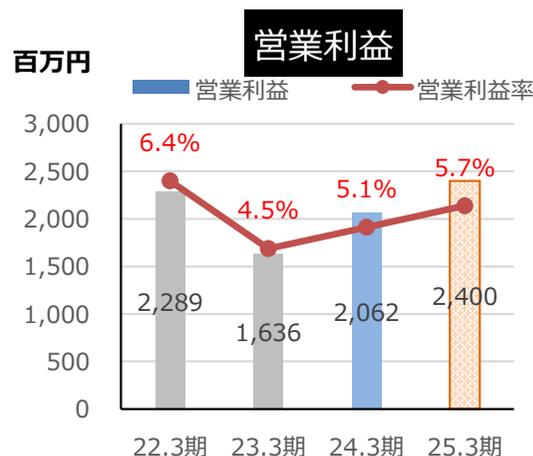
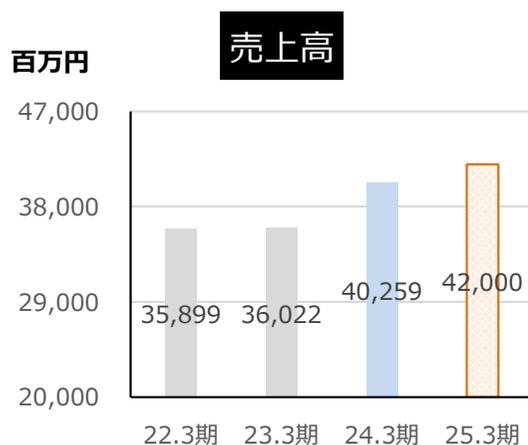
財務KPI	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	26.3期目標
ROE	20.9%	20.7%	12.1%	7.6%	9.6%	10%以上
売上高純利益率	3.87%	5.02%	4.25%	2.85%	3.36%	4%以上
総資本回転率	1.40倍	1.31倍	1.08倍	0.97倍	0.97倍	1倍以上
財務レバレッジ	3.76倍	3.10倍	2.61倍	2.73倍	2.94倍	2.5~3.0倍
連結配当性向	26.1%	22.1%	35.5%	53.0%	47.0%	40%以上
DOE	5.4%	5.0%	4.3%	4.0%	4.5%	4%以上



# 次期の業績予想及び配当

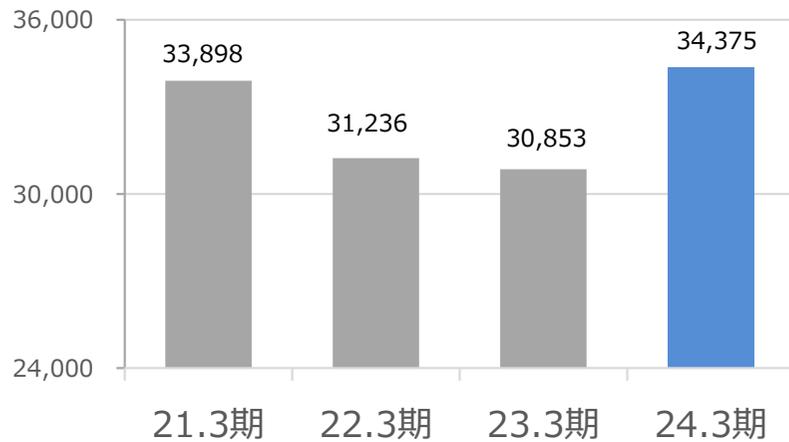
売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は当期実績より増収増益を見込み、配当は普通配当2円増配（年間配当1円増配）

単位：百万円	23.3期		24.3期		25.3期		
	実績	前年比 %	実績	前年比 %	予想	前年比 %	コメント
売上高	36,022	0.3	40,259	11.8	42,000	4.3	手持工事は減少したものの、大型工事の進捗が大幅に進むと見込まれ前期比増収
営業利益	1,636	△28.5	2,062	26.0	2,400	16.4	売上高の増収とともに、大型工事の進捗に伴って、設計変更の増額が見込まれ前期比増益
経常利益	1,624	△29.3	2,036	25.3	2,350	15.4	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	△32.8	1,353	31.9	1,550	14.6	
1株当たりの配当金	12円 (中間6円 期末6円)		14円 (特配1円含む) (中間6円 期末7円 特配1円)		15円 (中間7.5円 期末7.5円)		連結配当性向40%以上 DOE 4%以上



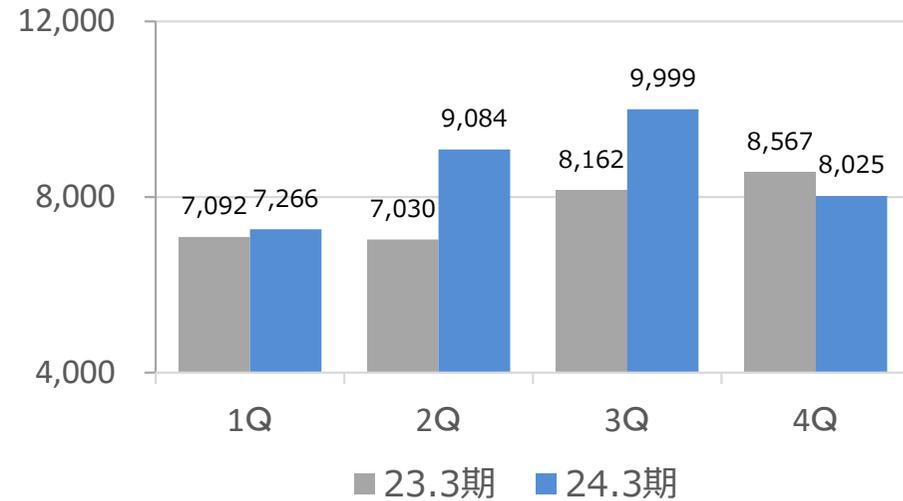
(単位：百万円)

### 売上高(累計)

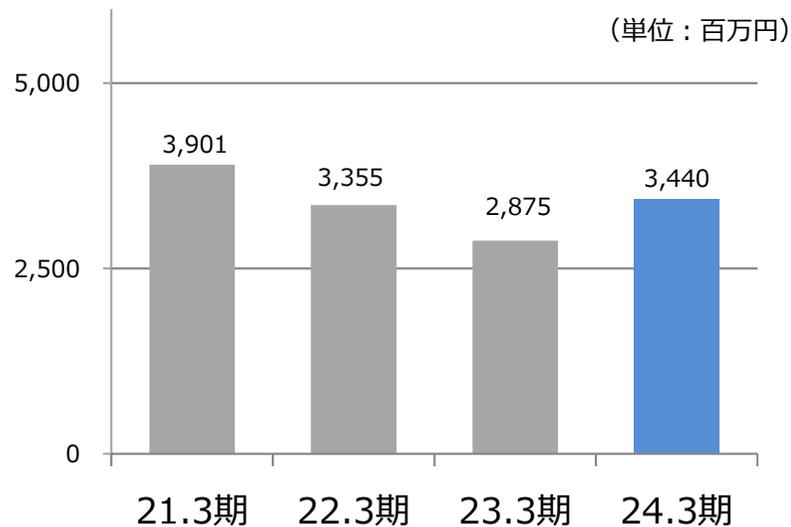


(単位：百万円)

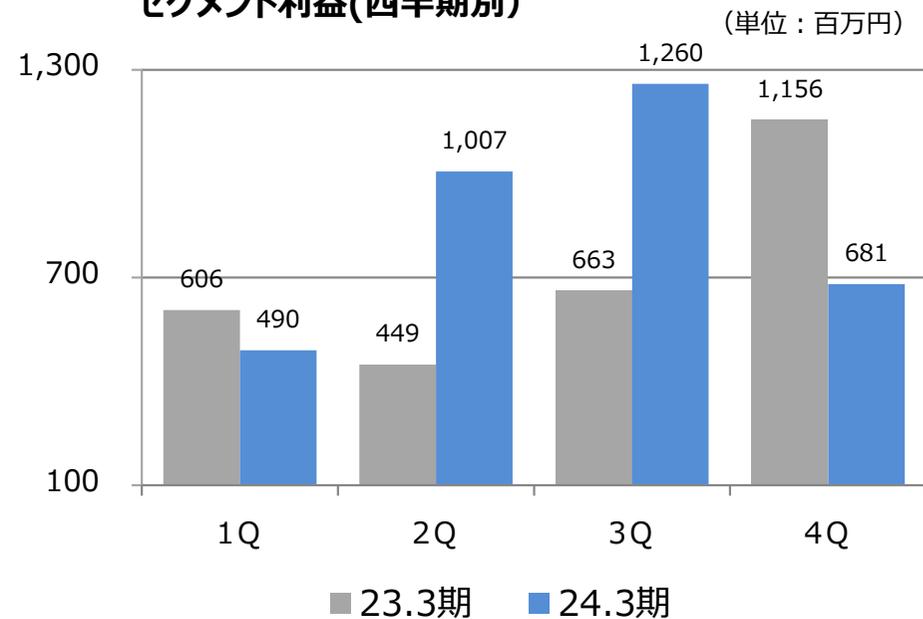
### 売上高(四半期別)



### セグメント利益(累計)

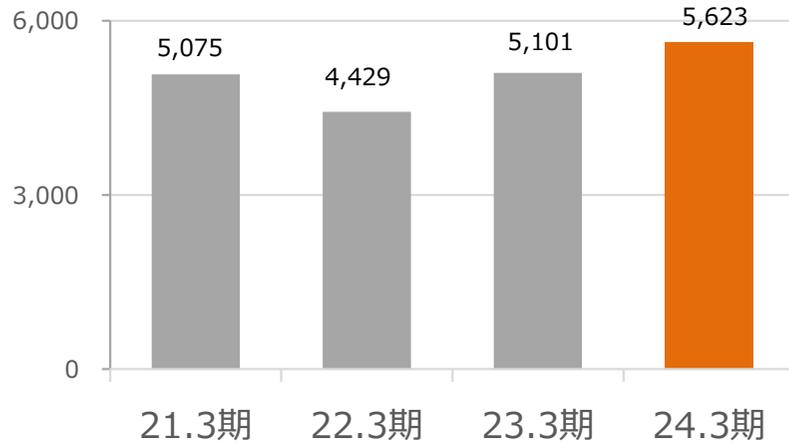


### セグメント利益(四半期別)



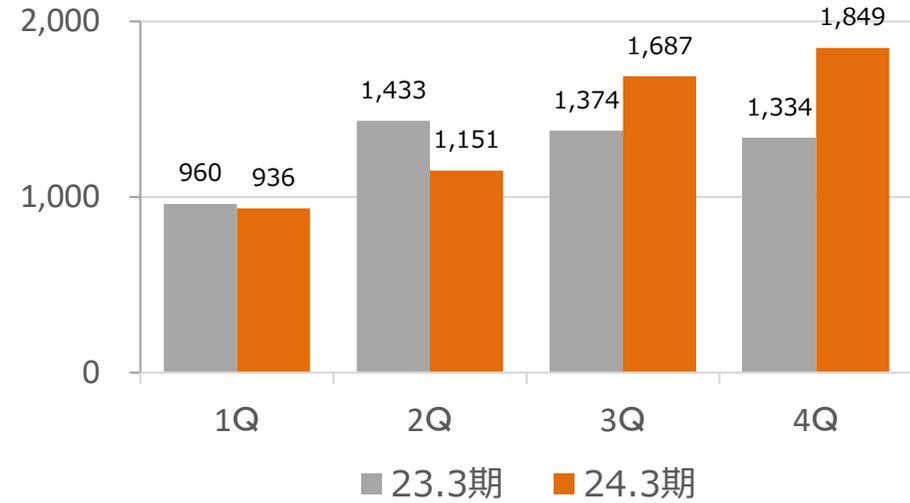
(単位：百万円)

### 売上高(累計)



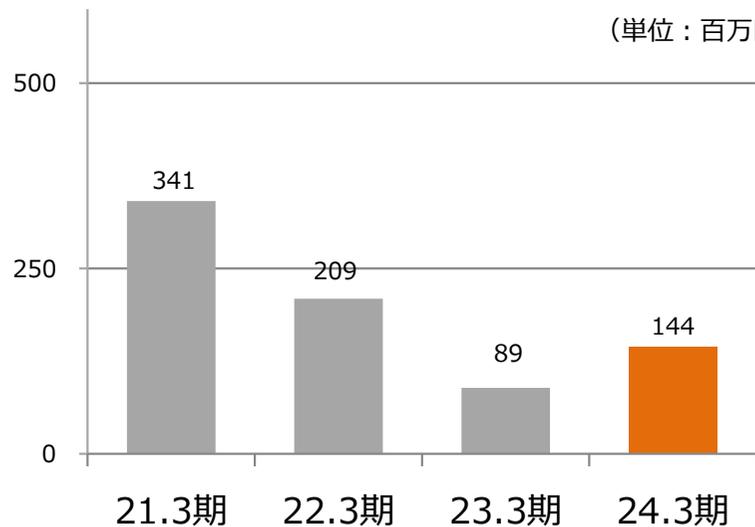
(単位：百万円)

### 売上高(四半期別)



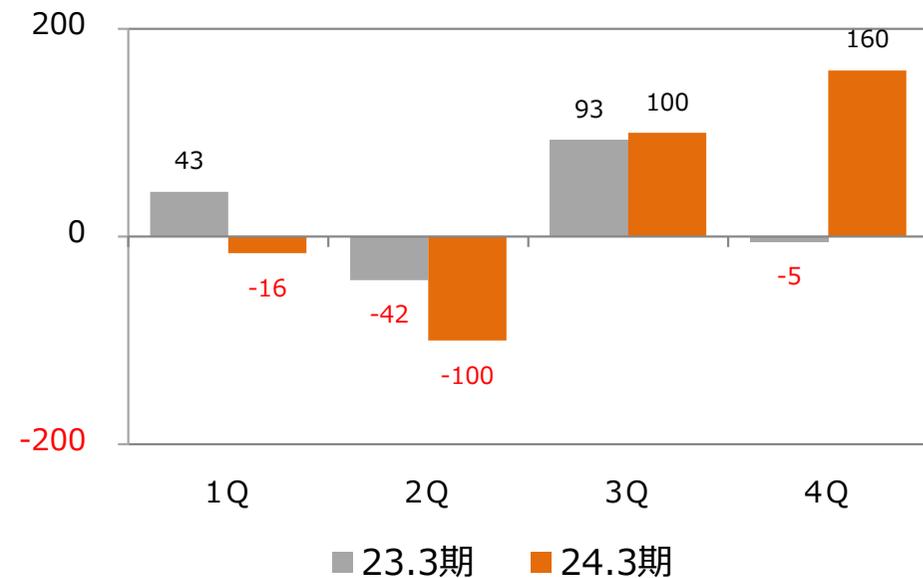
### セグメント利益(累計)

(単位：百万円)

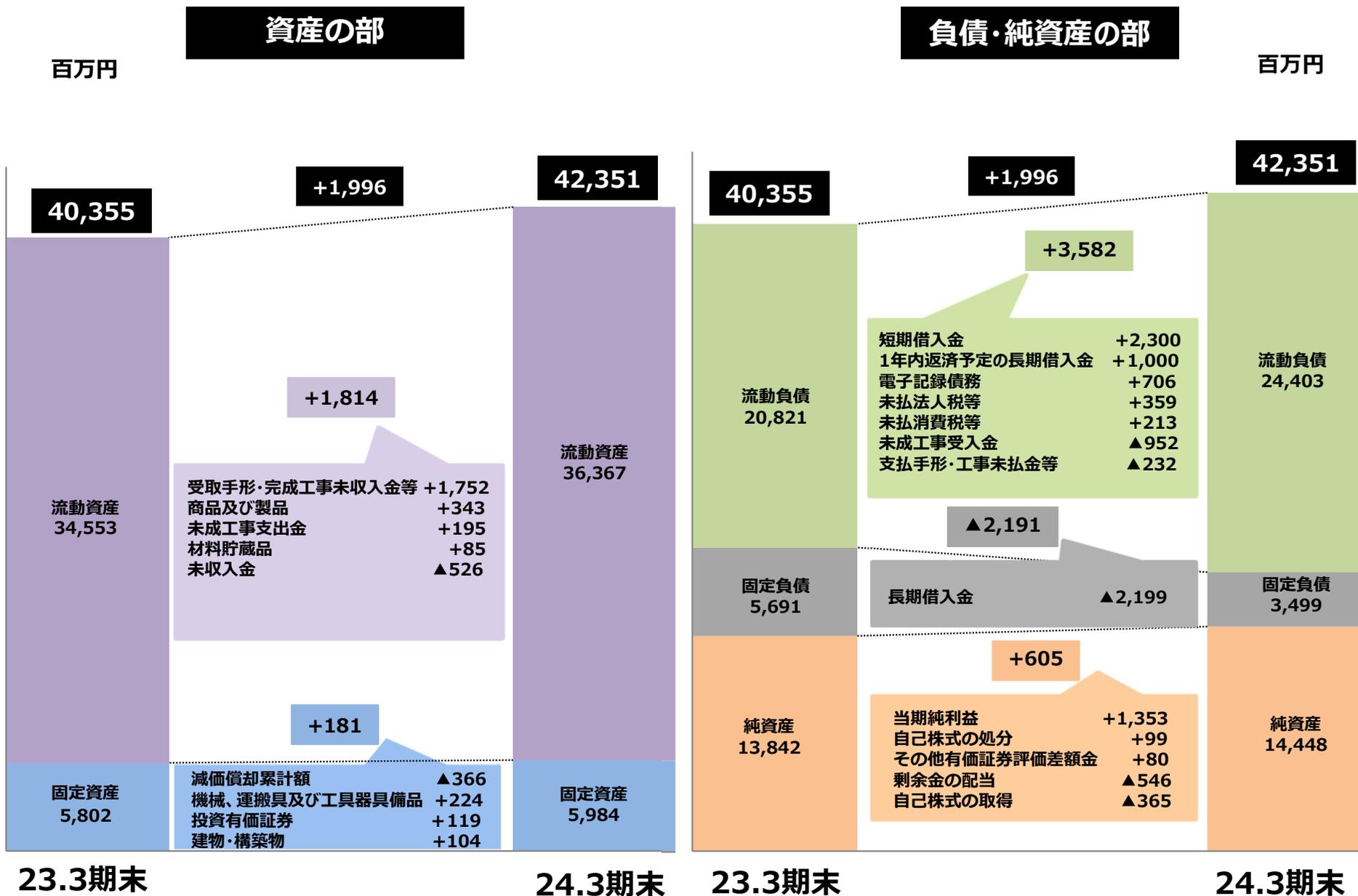


### セグメント利益(四半期別)

(単位：百万円)



# 連結貸借対照表

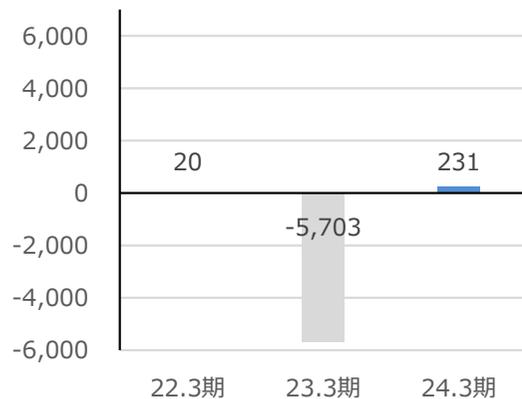


# 連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	22.3期	23.3期	24.3期		
営業キャッシュ・フロー	20	△5,703	231	税金等調整前当期純利益 売上債権の増加額	2,036 ▲1,752
投資キャッシュ・フロー	△520	△75	△443	有形固定資産の取得による支出	▲372
財務キャッシュ・フロー	△639	6,173	208	短期借入金純増加額 長期借入金の返済による支出 配当金の支払額 自己株式の取得による支出	+2,300 ▲1,199 ▲546 ▲365
現金・現金同等物期末残高	1,425	1,820	1,816		

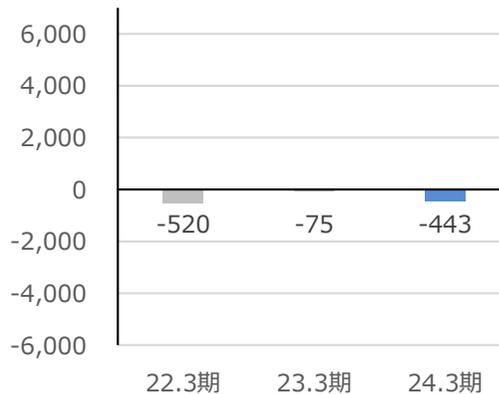
百万円

営業CF



百万円

投資CF



百万円

財務CF

